



茨城県の日立市にある里山である。登り始めも 360m であるので 240m 足らずの登りである。おまけに山頂には神社があるので道もしっかりしている。急な登りも降りも無く靴マークは 2 であるが 1 にしてもいいくらいだ。一か所だけちょっと急な降りがあった。この程度のところでも最近の俺はケツが引けてしまう。コースはいきなり神峰山に登って、あとはゆるいの降り中心の道を羽黒山(491m)などを経由して歩く。最後に鞍掛山(247m)に登るという行程だ。晴れていれば楽しいお散歩といったところであるが、残念ながらこの日は一日中雨でただでさえ樹林の中の暗い山なのにますます暗くなった。まあ雨が強くなかったのが唯一の救いか、また東京は 4℃にも満たなく日本各地には季節外れの雪も降ったようであるのにここではそれほど寒さは感じなかった。こんな天気であるのでキャンセルが 6 人も出て、男 5 人、女 2 人のこじんまりしたツアーになった。よく見かける顔は Kジタさんだけであった。話をしているとずいぶんと同じところに登っている。以前は結構きついところにも行っていたようであるが、最近は私と同じで今回のような緩いところが多くなったようである。



山頂の神社

桜の他には、スズランのような形をしたアセビ(馬酔木)の花などが沢山咲いていた。またこのあたりにはヒメシャラによく似たヒサカキ(非榊)の木が沢山あった。今は落葉しているがもう少しすると新緑になるそうだ。

ツアーリーダーは戸村の元気印バーサマ。サブは豊岡さんで2週前の赤鞍ヶ岳とおんなじだ。

万歩計は 29262 歩。



非榊の街道